

(様式1)



平成27年 11月 2日

京丹後市議会議長 様

会 派 名 無会派  
氏 名 金田 琮仁

調査研究等計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

記

1 日程

平成27年11月5日から11月6日の2日間

2 場所

常和御茶ノ水ビル2F 東京都千代田区駿河台2-1-18

3 目的

少子高齢化時代における地方自治体あり方と議会・議員の役割についての研修  
・高齢化社会と自治体社会

4 該当する政務活動費の用途項目

研修費

5 概算経費

交通費	33,900円	宿泊費	9,180円
受講料	15,000円		
合計	58,080円		

6 参加議員名

金田 琮仁

7 参考添付資料等

子育て・福祉・介護 マスター講座パンフレット・・・資料1  
交通行程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

議員のための

# 子育て・福祉・介護 マスター講座

in  
東京

KIKUYA CHIBA

## 千葉 喜久也

東京有明医療大学 准教授  
厚生労働省  
母子家庭自立支援事業評価委員

秋田県五城目町出身。東北大学大学院博士課程修了(学術博士)。秋田県庁、東北福祉大学准教授等を経て、現在、東京有明医療大学准教授、労働省母子家庭自立支援事業評価委員、福島県児童家庭専門員等として活躍中。著書に「思春期子ども相談の心」(中央法規)、「21世紀型福祉へ挑戦」編著(ぎょうせい)等多数。

10/22 木 9:30~12:00

## 子育て支援における 自治体の役割



- ① これまでの少子化対策としての子育て支援
- ② 子育て支援と自治体の責任
- ③ 子育て支援と住民参加
- ④ 子育て支援の意味と目的
- ⑤ 課題と展望

10/22 木 13:30~16:30

## 高齢者・障害者福祉の あり方と今後の展望



- ① 高齢者・障害者福祉の現状
- ② 福祉の理念の転換
- ③ 地域での「自立・生活」の支援
- ④ 人権侵害と権利擁護
- ⑤ 共生社会への展望

TOSHIYUKI KANAI

## 金井 利之

東京大学法学部 教授

東京大学法学部卒。東京都立大学法学部助教授、オランダ国立ライデン大学社会科学部客員研究員、東京大学大学院法学政治学研究所助教授を経て現在、東京大学法学部及び同大学院教授として活躍。著書は、「実践自治体行政学」(第一法規)、「[[改訂版]]ホーンブック地方自治」(北樹出版)など多数。

11/5 木 13:30~16:30

## 少子化社会と 自治体議会



- ① 集合財としての子育て
- ② 行政評価としての子育て
- ③ 子ども・子育て政策と自治体の限界
- ④ 教育・福祉の融合
- ⑤ 子どもと議会・議員の役割

11/6 金 9:30~12:00

## 高齢化社会と 自治体議会



- ① 世代間・世代内配分と高齢化
- ② 介護保険制度
- ③ 医療確保制度
- ④ 地域包括ケア
- ⑤ 高齢者と議会・議員の役割

## 視察研修行程表 (東京、議会総研)

11月5日(木)

14:20	峰山 出発	丹鉄	
	↓		
	天橋立	特急はしだて6号	
	↓		
17:06	京都 着		
17:30	京都 発	新幹線	
	↓		
19:25	東京 着	宿泊	ホテル「機山館」 東京都文京区本郷4-37-20 03-3812-1211

11月6日(金)

9:30	研修	「TKPスター貸会議室お茶の水駅前」 (株) 地方議会総合研究所	
	↓		
12:00			
14:00	東京 発	新幹線	
	↓		
16:30	京都 着		
17:29	京都 発	特急きのさき13号	
	↓		
	福知山	丹鉄 特急リレー号	
	↓		
	宮津	丹鉄	
	↓		
20:23	峰山 着		

(様式1)



平成27年 11月 12日

京丹後市議会議長 様

会派名 無会派  
氏名 金田 琮仁



### 調査研究等計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

#### 記

- 1 日程  
平成27年11月17日(火)
- 2 場所  
参議院議員会館会 1階 講堂
- 3 目的  
「山陰近畿自動車道整備推進東京会議」参加のため
- 4 該当する政務活動費の用途項目  
要請・陳情費
- 5 概算経費  
交通費 15,270円  
合計 15,270円
- 6 参加議員名  
金田 琮仁
- 7 参考添付資料等  
交通行程表・・・・・・・・・・・・・・・・資料・1

視察研修交通行程表 (東京、参議院議員会館)

● 11月17日(火)

6:30	峰山 出発	自家用車
	↓	
7:30	綾部 着	
7:53	綾部 発	JR特急きのさき6号
	↓	
9:03	京都 着	
9:30	京都 発	新幹線・のぞみ
	↓	
12:00	東京 着	
14:00	「山陰近畿自動車道整備推進東京会議」 参議院議員会館会 1階 講堂	



(様式2)

平成27年 11月 24日

京丹後市議会議長 様

会派名 無会派  
氏名 金田 琮仁



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 平成27年11月 5日(木)～ 6日(金)
- 2 場所 「TKPスター貸会議室お茶の水駅前」  
東京都千代田区神田駿河台 2-1-18 常和御茶ノ水ビル2階
- 3 目的 少子高齢化時代における地方自治体のあり方と議会・議員の役割について  
の研修  
・高齢化社会と自治体社会
- 4 該当する政務活動費の使途項目  
研修費
- 5 支出経費の内訳と金額  
58,150円・・・別紙資料1
- 6 参加議員名  
金田琮仁
- 7 調査研究成果の概要、所見  
研修報告書・・・別資料2
- 8 成果物、資料等  
資料・・・資料3  
資料・・・資料4

政務活動費 出納帳

別資料、1

平成 27 年 11 月 24 日

科目		摘要		備考		交付決定	交付確定	交付残高
NO	日付	科目	摘要	内訳	支出			
交付決定額		交付限度額 = 135,000 円						
交付確定済額		既に交付額が確定し清算された額		4月1日～9月30日				
交付確定済額		既に交付額が確定し清算された額		10月1日～3月31日				
交付未確定額		交付決定額の内、交付確定されていない額						
政務活動								
1	11月5日	研修費－旅費	鉄道等運賃	峰山駅－京都駅 (往復 乗車券、特急券)	7,810 円			
2	11月5日	研修費－旅費	鉄道等運賃	京都駅－東京駅 (新幹線・往復 乗車券、特急券)	26,160 円			
3	11月5日	研修費－旅費	宿泊料	ホテル機山館	9,180 円			
4	11月6日	研修費－参加費	受講料	セミナー「高齢化社会と自治体議会」 (㈱地方議会総合研究所)	15,000 円			
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
						政務活動費交付決定を申請する額		58,150 円

・少子高齢化時代における地方自治体のあり方と議会・議員の役割についての研修

【視察先】

東京都

(11月5日・6日)

領収証

金田 琮仁 様

No. \_\_\_\_\_

金額										
			¥	7	8	1	0	-		

収 入  
印 紙

但 乗車券代金として  
27.11.4日 上記正に領収いたしました

内 訳

現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	

コクヨ ウケ-370

〒626-0041 京都府宮津市字鶴賀2065-4  
WILLER TRAINS株式会社  
TEL 0772-25-2323



領収書-No 61  
窓口-No 4

領 収 書

金田 琮仁 様

金額 ¥26,160円  
「消費税等込み」

但し、乗車券類代金(クレジットカード扱い)として

27年11月 5日  
株式会社ジェイアール東海ツアーズ  
ご利用いただきましてありがとうございます

印 紙 税 申 告 納  
付 に つ き 京 橋  
税 務 署 承 認 済

京都支店

担当





# 領収書

(RECEIPT)

No. 1932 1

印  
紙

お名前 NAME	金田 琮仁 様
-------------	---------

ホテル 機山館 kizankan  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-20  
TEL (03) 3812-1211  
FAX (03) 3816-1218

領収金額 BALANCE DUE	¥9,180
---------------------	--------

内諸税  
TAX 680

発行日 ISSUED	15/11/05
---------------	----------

ありがとうございました。またのご利用を  
お待ちしております。  
Thank you for your staying us.  
We hope we may have pleasure of serving  
you again.

# 請求明細書

(STATEMENT)

ホテル 機山館 kizankan

〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-20  
TEL (03) 3812-1211  
FAX (03) 3816-1218

お名前 NAME	金田 琮仁 様
-------------	---------

部屋番号 ROOM NO.	326
------------------	-----

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	宿泊人数 PERSON
15/11/05	15/11/06	15/11/05	1

日付 DATE	摘要 DESCRIPTION	単価 PRICE	数量 QTY	金額 AMOUNT	お支払 BALANCE	備考 REMARKS
15/11/05	室料	9,180	1	9,180		
	クレジット	9,180	1		9,180	

No. 1932 1	お振込先	みずほ銀行 本郷支店 (普) 404937	利用金額 TOTAL AMOUNT	9,180
20:22:19	三菱東京UFJ銀行 本郷支店 (普) 12100	支払金額 TOTAL BALANCE	9,180	
7	三井住友銀行 小石川支店 (普) 995106	請求残高 BALANCE DUE	0	
	口座名 株式会社 機山館			

# 領収証

金田 琮仁 様

金額

¥15,000

但

11/6  
27年 11月 6日

セミナー受講料として

上記正に領収いたしました

内 訳

消費税額等(%)

株式会社 地方議会総合研究所

〒152-0032 東京都目黒区平町1丁目9番15号  
TEL 03-6912-1930 FAX 03-39-1-9585

**【テーマ】 高齢化社会と自治体議会**

日時 平成27年11月 6日(金) 9:30~12:00

講師 東京大学法学部教授 金井 利之氏

1、研修の目的

長寿は人間の永遠の願いであることを考えれば、長寿命化自体は決して悪いことではない。高齢者支援も単なる人手の問題ではなく、それを支える人の心と仕組みの問題ではないのか。このような視点から少子高齢化社会の課題の整理と、京丹後市における取組みに生かすために、研修を受けた。

2、研修の内容

高齢化の進展は、常に問題とされてきた。しかし、寿命が延びる以上、高齢者の比率は多くなるのは当然であり、望ましいことである。そこで、高齢化がもし問題であるならば、少子化対策をすべきであるにも関わらず、これまでそれをしてこなかったことがむしろ不可思議でさえある。高齢化を、サービス需要の増大・歳出の増大であり、歳入にとっては減少である、と言った短絡的な財政収支問題としか認識してこなかった事への、いわばツケがきているのではないか。

●世代間配分と世代間不公平

- ①「生産・従属人口」と言う世界観
- ②三世代ゼロサム論
- ③三世代バランス論
- ④生産・従属・消費と生産性
- ⑤全世代型社会保障構想

●世代内配分と世帯間不公平

- ①現役世代の世帯間不公平
- ②世帯形態の多様化

●シルバー自治体

- ①福祉サービス需要による雇用創出
- ②日本版CCRC

●地域包括ケアの担い手としての自治体議員・議会



### 3、所見

#### ○「生産・従属人口」と言う世界観について。

大人が子供と老人を支える、すなわち生産年齢人口が従属人口を支えるのが、今の社会で「当然」のように思われているが、ここの所を少し考えてみたい。まず、生産年齢とは、一般的に15歳から65歳とされているが、現実として中学卒の15歳ですぐに就職、就業するとは限らない。現在ではいわゆる子供とか、青年と呼ばれる年齢の期間は長くなっている。そもそもさかのぼる事の中世の時代では、幼児ではない「子供」であっても仕事をした社会であった。「支え手」と「担い手」で言うと、生産年齢人口に属さない高齢者と子供以外の、生産年齢人口が多ければ「〇人で〇人を支える」式で言うところの、御神輿型（多人数で少人数を支える）、騎馬戦型（3人で1人を支える）、おんぶ型（1人で1人を支える）という考え方なら、当然、御神輿型となるが、高齢化が進む（生産年齢人口が減少する）とそれだけ「担い手」の負担感は高まっていく。

#### ○三世代ゼロサム論について。

人口構成の変化がプラスに作用する状態を「人口ボーナス」と言い、逆に人口構成の変化が経済にとってマイナスに作用する状態を「人口オーナス」と言うが、年少人口、生産年齢人口、老年人口、この三つの世代間のゼロサム（合計するとゼロになる。一方の利益が他方の損失になること。）「世代間の負担平準化」をはかると言うもの。時間の経過とともに、負担者と受益者が交代して長期的に公平になるというイメージである。各世代が同一人数であればその負担を次々に世代間で先送りにできる。

#### ○福祉サービス需要による雇用創出について。

福祉のための租税負担は単なる負担ではなく巡り巡って需要がおきてくるので、一方的に収奪される、そのお金が消滅するとは考えのではなく、双方向に